



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 イチネンホールディングス  
 コード番号 9619 URL <http://www.ichinenhd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 黒田 雅史  
 (氏名) 井本 久子

TEL 06-6309-7890

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	11,662	△1.0	823	43.8	752	55.8	439	59.1
23年3月期第1四半期	11,779	△0.1	572	△7.7	483	△8.0	276	△13.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 454百万円 (122.6%) 23年3月期第1四半期 204百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	17.49	—
23年3月期第1四半期	11.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	77,934	16,122	20.7
23年3月期	77,544	15,894	20.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 16,113百万円 23年3月期 15,885百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00	
24年3月期	—	—	—	—	—	
24年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,180	1.6	1,430	△6.2	1,250	△5.7	780	△14.7	31.01
通期	49,000	3.7	3,200	1.6	2,830	2.2	1,310	△11.8	52.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	25,163,727 株	23年3月期	25,163,727 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	10,833 株	23年3月期	10,816 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	25,152,903 株	23年3月期1Q	25,152,992 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表等 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)におけるわが国経済は、海外経済の回復等により持ち直しの動きが見られたものの、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力発電所事故の影響により経済活動に大きな混乱が生じました。

このような状況の下、当社グループは、株式会社イチネンホールディングスを純粋持株会社とし、傘下の各事業会社が独立経営を進めながら、グループ一体経営を推進しております。

現在、「リース事業」、「自動車メンテナンス受託事業」、「燃料販売事業」、「ケミカル事業」、「パーキング事業」の5つの事業を展開しており、新たに「カーシェアリング事業」にも参入いたしました。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、116億62百万円(対前年同期比1.0%減)、営業利益は8億23百万円(対前年同期比43.8%増)、経常利益は7億52百万円(対前年同期比55.8%増)、四半期純利益は4億39百万円(対前年同期比59.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、下記のセグメント別売上高は、内部売上高消去前の金額であります。

#### <リース事業>

リース事業におきましては、中小規模の企業のみならず、大手企業を含むあらゆる車両需要先企業をターゲットに投資効率を重視したリース契約の増加に努めてまいりました。また、リース契約満了時における解約阻止に注力いたしましたが、東日本大震災の影響により新車入替時の納車が遅延した結果、再リース契約の比率が上昇いたしました。

この結果、平成23年6月末現在リース契約台数は56,095台(対前期末比33台増)となり、リース契約高は42億74百万円(対前年同期比7.6%減)、リース未経過契約残高は427億58百万円(対前期末比2.1%減)となりました。

損益面では、低年式・走行過多車両の入替えを促進し、メンテナンスコストの抑制に注力し、採算販売の徹底により粗利益率の改善に取り組んでまいりました。また、リース契約終了後の車両処分については、東日本大震災の影響により中古車市場における需要が伸びたことから堅調に推移いたしました。しかしながら、新車入替時の納車遅延による再リース契約比率の上昇、並びにリース契約車両の小型化の影響は大きく、この結果、売上高は56億3百万円(対前年同期比2.8%減)、セグメント利益は3億8百万円(対前年同期比13.7%増)となりました。

なお、平成23年1月より新規参入いたしましたカーシェアリング事業については、5月より営業を開始し、会員獲得とステーション拡大に努めております。

#### <自動車メンテナンス受託事業>

自動車メンテナンス受託事業におきましては、当社独自の強みである高点検率、営業品質を追求しながら、契約台数、契約残高の増加に努めてまいりました。また、メンテナンスコストの増加要因となる低年式・走行過多車両の入替えを促進し、メンテナンスコストの抑制に注力し、不採算契約の改善並びに走行距離に応じた料金設定を行い、収益向上に努めてまいりました。

この結果、メンテナンス受託契約高は12億11百万円(対前年同期比10.2%減)、メンテナンス未経過契約残高は63億49百万円(対前期末比1.5%増)となりました。

損益面では、引き続き徹底した不採算取引の改善を行いました。また中古自動車の販売が堅調に推移いたしました。これにより、売上高は19億30百万円(対前年同期比3.0%増)、セグメント利益は96百万円(前年同期は42百万円のセグメント利益)となりました。

#### <燃料販売事業>

燃料販売事業におきましては、主力である自動車用燃料給油カードは、付加価値の高いサービスを顧客に提供し、他社との差別化を図ることにより、新規顧客獲得並びに販売数量の拡大に注力いたしました。これにより、自動車用燃料給油カードによるガソリン等の販売数量は前年同期比3.3%増となりました。

損益面では、自動車燃料給油カードの販売価格の調整を適時・適切に実施いたしました。また、引き続き大口取引先との取引内容を大幅に改善いたしました。

この結果、売上高は6億80百万円(対前年同期比13.0%増)、セグメント利益は1億77百万円(前年同期は63百万円のセグメント利益)となりました。

<ケミカル事業>

ケミカル事業におきましては、防水型携帯電話部品関連では、スマートフォン向けの受注台数が前年同期より増加しました。一方、工業薬品関連では、主力製品の燃料添加剤並びに船舶用燃料添加剤の売上数量は、ともに前年同期に比べ減少し、化学品関連では、機械工具商向け化学品等の需要が減少いたしました。

この結果、売上高は25億53百万円（対前年同期比3.6%減）となりましたが、販売費及び一般管理費の削減を行った結果、セグメント利益は1億15百万円（対前年同期比3.7%増）となりました。

<パーキング事業>

パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大と引き続き不採算駐車場の採算改善を行い、駐車場個々の収益向上に努めてまいりました。

この結果、平成23年6月末現在駐車場管理件数は609件（対前期末比11件増）、管理台数は16,149台（対前期末比981台増）となりました。なお、当第1四半期連結会計期間より、駐車場管理受託の管理件数20件（対前期末比1件増）及び管理台数1,375台（対前期末比464件増）を含めております。

損益面では、東日本大震災により関東地方において一部駐車場が稼働停止になる等の影響を受けましたが、既存駐車場の収益改善策として、周辺店舗への駐車チケットの販売、月極契約の募集や駐車料金の見直し等、売上拡大策を講じるとともに、運営コストの低減を図ってまいりました。また、病院附帯の駐車場の新規管理受託契約を含め、新規駐車場が堅調に増加いたしました。

この結果、売上高は8億65百万円（対前年同期比1.3%増）、セグメント利益は73百万円（対前年同期比53.2%増）となりました。

<その他>

その他におきましては、保険収益等が安定した収益を確保いたしました。

この結果、売上高は1億42百万円（対前年同期比4.9%増）、セグメント利益は49百万円（対前年同期比47.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産の状況>

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は331億18百万円となり、前連結会計年度末残高325億82百万円と比べて5億36百万円増加いたしました。これは自動車税の納付に伴う「前払費用」の増加7億78百万円、欠品防止を目的とした「商品及び製品」の増加1億26百万円、ファイナンス・リース取引の契約残高の減少に伴う「リース投資資産」の減少5億21百万円が主な要因であります。

固定資産の残高は447億65百万円となり、前連結会計年度末残高449億5百万円と比べて1億39百万円減少いたしました。これは「のれん」の償却による減少1億4百万円が主な要因であります。

繰延資産の残高は50百万円となり、前連結会計年度末残高57百万円と比べて、7百万円減少いたしました。

以上の結果、資産合計は当第1四半期連結会計期間末残高779億34百万円となり、前連結会計年度末残高775億44百万円と比べて3億89百万円増加いたしました。

<負債の状況>

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は284億15百万円となり、前連結会計年度末残高274億57百万円と比べて9億58百万円増加いたしました。これは「コマーシャル・ペーパー」の増加10億円、「賞与引当金」の増加2億35百万円、再リース契約の増加及び東日本大震災の影響による新車入替時の納車遅延により新規リース契約が減少したことによる「支払手形及び買掛金」の減少5億27百万円がその主な要因であります。

固定負債の残高は333億96百万円となり、前連結会計年度末残高341億93百万円と比べて7億96百万円減少いたしました。これは「長期借入金」の減少3億81百万円、「社債」の減少2億90百万円がその主な要因であります。

以上の結果、負債合計は当第1四半期連結会計期間末残高618億12百万円となり、前連結会計年度末残高616億50百万円と比べて1億61百万円増加いたしました。

<純資産の状況>

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は161億22百万円となり、前連結会計年度末残高158億94百万円と比べて2億28百万円増加いたしました。これは、「四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加4億39百万円、配当金の支払による「利益剰余金」の減少2億26百万円がその主な要因であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より1億90百万円減少し、20億96百万円になりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△2億5百万円（前年同期は△8億98百万円）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が7億26百万円となったこと、新車の供給遅延による新規リース及び車両入替の減少により、「仕入債務の増減額（△は減少）」が△5億11百万円となったこと及び自動車税の納付に伴う前払費用の増加等により「その他」が△5億85百万円となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△84百万円（前年同期は△1億32百万円）となりました。これは主に、パーキング事業における機器の購入による「有形及び無形固定資産の取得による支出」△1億22百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、99百万円（前年同期は22億48百万円）となりました。これは主に、「コマーシャル・ペーパーの発行による収入」50億円が「コマーシャル・ペーパーの償還による支出」△40億円を上回った一方、「長期借入金の返済による支出」△20億40百万円が「長期借入れによる収入」17億円を上回ったこと及び「社債の償還による支出」△2億90百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、堅調に推移いたしました。当第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、東日本大震災の影響から国内景気は厳しい状況が続くと思われまますので、現時点では、平成23年4月28日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,296,558	2,106,362
受取手形及び売掛金	6,368,314	6,433,907
リース・メンテナンス未収入金	1,731,587	1,730,607
リース投資資産	18,002,045	17,480,949
商品及び製品	685,427	812,110
仕掛品	88,170	79,805
原材料及び貯蔵品	245,449	308,062
前払費用	1,573,773	2,351,805
繰延税金資産	685,404	765,269
その他	907,420	1,050,815
貸倒引当金	△2,000	△1,000
流動資産合計	32,582,151	33,118,696
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸資産	41,717,789	42,159,044
減価償却累計額	△23,735,259	△24,005,558
賃貸資産(純額)	17,982,530	18,153,486
土地	12,336,746	12,336,746
その他	9,336,662	9,324,124
減価償却累計額	△5,543,158	△5,621,086
その他(純額)	3,793,504	3,703,038
有形固定資産合計	34,112,781	34,193,271
無形固定資産		
のれん	5,197,668	5,093,529
その他	547,375	509,381
無形固定資産合計	5,745,043	5,602,910
投資その他の資産		
投資有価証券	1,926,679	1,912,106
長期前払費用	1,008,268	979,866
繰延税金資産	918,629	904,824
その他	1,577,072	1,552,683
貸倒引当金	△383,373	△380,368
投資その他の資産合計	5,047,276	4,969,112
固定資産合計	44,905,102	44,765,295
繰延資産	57,734	50,260
資産合計	77,544,988	77,934,252



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,020,592	6,492,984
短期借入金	4,016,700	4,000,000
コマーシャル・ペーパー	500,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	3,720,000	3,720,000
1年内返済予定の長期借入金	9,217,341	9,258,429
リース債務	780,248	747,214
未払法人税等	225,363	362,047
リース・メンテナンス前受金	960,259	911,528
賞与引当金	257,000	492,000
その他	760,030	931,363
流動負債合計	27,457,535	28,415,568
固定負債		
社債	4,890,000	4,600,000
長期借入金	27,095,696	26,714,427
リース債務	974,258	838,259
退職給付引当金	583,832	589,059
役員退職慰労引当金	130,599	134,243
資産除去債務	170,612	172,955
その他	348,383	347,641
固定負債合計	34,193,383	33,396,587
負債合計	61,650,918	61,812,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,529,135	2,529,135
資本剰余金	4,155,974	4,155,974
利益剰余金	9,249,231	9,462,812
自己株式	△6,002	△6,008
株主資本合計	15,928,339	16,141,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,190	△28,737
その他の包括利益累計額合計	△43,190	△28,737
新株予約権	8,920	8,920
純資産合計	15,894,069	16,122,096
負債純資産合計	77,544,988	77,934,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	11,779,820	11,662,851
売上原価	8,995,543	8,659,124
売上総利益	2,784,276	3,003,727
販売費及び一般管理費		
役員報酬	136,144	127,195
給料手当及び賞与	751,627	706,919
賞与引当金繰入額	182,551	236,339
退職給付費用	65,439	68,989
役員退職慰労引当金繰入額	9,781	9,513
貸倒引当金繰入額	15,786	△3,984
のれん償却額	104,418	104,139
その他	945,794	931,171
販売費及び一般管理費合計	2,211,543	2,180,281
営業利益	572,733	823,446
営業外収益		
受取配当金	27,919	26,792
その他	18,583	17,623
営業外収益合計	46,503	44,416
営業外費用		
支払利息	96,827	87,081
支払手数料	6,360	7,287
その他	33,047	21,027
営業外費用合計	136,236	115,397
経常利益	483,000	752,465
特別利益		
固定資産売却益	4	—
投資有価証券売却益	4,020	—
貸倒引当金戻入額	30,860	—
特別利益合計	34,885	—
特別損失		
固定資産除売却損	7,501	23,721
投資有価証券売却損	395	—
投資有価証券評価損	—	2,466
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	70,100	—
特別損失合計	77,997	26,188
税金等調整前四半期純利益	439,888	726,276
法人税、住民税及び事業税	184,804	360,297
法人税等調整額	△21,529	△73,978
法人税等合計	163,274	286,319
少数株主損益調整前四半期純利益	276,613	439,957
四半期純利益	276,613	439,957

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	276,613	439,957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72,470	14,453
その他の包括利益合計	△72,470	14,453
四半期包括利益	204,142	454,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,142	454,410
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	439,888	726,276
減価償却費	1,412,792	1,534,720
のれん償却額	104,418	104,139
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19,788	△4,005
受取利息及び受取配当金	△29,898	△28,145
支払利息	96,827	87,081
売上債権の増減額(△は増加)	△124,752	△65,592
たな卸資産の増減額(△は増加)	△93,326	△191,646
リース投資資産の純増減額(△は増加)	457,991	429,803
賃貸資産の純増減額(△は増加)	△1,733,676	△1,435,022
仕入債務の増減額(△は減少)	169,293	△511,591
利息及び配当金の受取額	30,130	28,620
利息の支払額	△78,420	△73,419
法人税等の支払額	△790,809	△223,041
法人税等の還付額	—	1,723
その他	△738,962	△585,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	△898,290	△205,526
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	—	10,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△142,948	△122,929
有形及び無形固定資産の売却による収入	25	—
固定資産の除却による支出	—	△797
投資有価証券の取得による支出	△5,008	△3,750
その他	25,487	43,446
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132,444	△84,030
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,840,000	—
短期借入金返済による支出	△1,333,320	△16,700
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	4,000,000	5,000,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△2,000,000	△4,000,000
長期借入れによる収入	503,710	1,700,000
長期借入金返済による支出	△2,110,088	△2,040,180
社債の発行による収入	988,931	—
社債の償還による支出	△290,000	△290,000
リース債務の返済による支出	△13,568	△17,871
配当金の支払額	△326,991	△226,376
その他	△10,051	△9,511
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,248,623	99,360
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,217,887	△190,196
現金及び現金同等物の期首残高	1,913,435	2,286,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,131,323	2,096,362

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	リース事業	自動車 メンテ ナンス 受託事業	燃料販売 事業	ケミカル 事業	パーキング 事業	計				
売上高										
(1) 外部顧客 への売上 高	5,727,059	1,812,908	602,216	2,647,258	854,921	11,644,364	135,455	11,779,820	—	11,779,820
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	40,138	61,159	—	—	—	101,298	—	101,298	(△101,298)	—
計	5,767,198	1,874,068	602,216	2,647,258	854,921	11,745,663	135,455	11,881,119	(△101,298)	11,779,820
セグメント 利益	271,301	42,631	63,473	111,065	48,070	536,542	33,191	569,733	3,000	572,733

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務並びに不動産の賃貸及び管理等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	リース事業	自動車 メンテ ナンス 受託事業	燃料販売 事業	ケミカル 事業	パーキング 事業	計				
売上高										
(1) 外部顧客 への売上 高	5,563,301	1,863,349	677,295	2,553,124	863,637	11,520,707	142,144	11,662,851	—	11,662,851
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	39,835	66,896	3,046	—	2,152	111,930	—	111,930	(△111,930)	—
計	5,603,137	1,930,245	680,341	2,553,124	865,790	11,632,638	142,144	11,774,782	(△111,930)	11,662,851
セグメント 利益	308,518	96,073	177,979	115,162	73,630	771,364	49,081	820,446	3,000	823,446

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務並びに不動産の賃貸及び管理等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。